

団体名：JAかみはやし女性部農産加工グループゆりの会企業組合

代表者：田中早苗

所在地：新潟県岩船郡神林村

〔ポイント〕

平成6年から「野菜市」を開始。平成13年、村の道の駅に直売所（「とれたて野菜市」）、平成14年に直売所の隣に加工所が完成。平成18年2月6日に「企業組合」として再出発。地場産大豆を新しい食材「テンペ」に加工し、神林村にしかない特産品を開発する等、地場農産物を利用した加工販売に取り組み地産地消を基礎として農家所得を増大。

会の理念

- 母ちゃん達が元気で奮闘！ 家庭も元気！ 村も元気！
- 身近な素材は宝の山。消費者によるこぼれることが母ちゃん達のよろこび。
- 自分たちの可能な範囲で懸命に働き、人生を楽しく豊かに過ごす。

【活動の内容】

1. 活動の動機・活動内容の経緯

・村の農業は、水稻を基幹とした経営が中心であるが、近年、米価の下落等で農業所得が減少するなど農業に行き詰り感があり、村に活気が無くなっていた。

そんな事態を母ちゃん達の力で元気づけたいとJA女性部が中心となり、平成6年から「野菜市」を開始した。順調に売上を伸ばしていたが、出荷最盛期になると野菜が売れ残る悩みが生じてきた。また、冬期間は品目が少なく直売所が閑散とするなどの課題もあった。母ちゃん達は、グループで起業することに着手、起業化のための支援事業（岩船地域NPO事業）に手を挙げることになり、直売市の起業希望者だけでなく村全体にも公募をかけ、グループを結成した。

平成13年、理器具はグループ員が出資し、平成14年に直売所の隣に加工所が完成。

【活動の成果】

1. 会員の自発性の発揮

会はメンバーの共同出資により組織したこともあり、メンバー個々人の自発性が高く、日ごろ自己研鑽に努めている。また、各班にリーダーを置き役割分担することで、判断や決断をスピーディに行うことができ、人数が多いグループであるが小回りがきく態勢になっている。

2. 地域からの支持、信頼性

村の代表的な加工品と言えば「ゆりの会」の加工品といわれるほど、商品に対する信頼度は高い。このことは、手を抜かず、常においしいものを消費者に届けたいという会の精神がお客様に伝わった大きな成果と言える。

3. 活動目標・理念に対する成果

成功の秘訣は、どんなに忙しくても周囲の仲間への配慮や自分達の家庭を大切にしよう心がけるとともに、自分達のペースをしっかりと守って頑張ってきたことが挙げられる。

4. 地域のモデル的存在

当会は、女性農業者の「思い」を実現する組織として、さらには組織発展に悩む直売経営者・起業家の先陣をきって企業組合としての新たな体制を敷くなど、常にモデル的存在として地域に大きな刺激を与えている。